



NPO PTPL “ともいき” 便り No.19

■小寒 (しょうかん) (2013年1月5日発行)

大寒のような小寒

元日を過ぎてすぐ、1月5日が「寒」の入り。この日から1月19日までが小寒の節気で、寒さは次第に厳しくなるとされています。しかし、今年は早くから強い寒気が押し寄せ、北国ではすでに大雪。難儀な冬が始まっています。

北海道をはじめ被災地の皆さん、とりわけ仮設住宅でお暮らしの皆さんは、どのように対処しておいででしょうか。すでに大寒のような北日本です。お見舞い申し上げます。

福島県で生まれた私は4歳で東京にもどりましたが、深い積雪のニュースを聞くと、静岡育ちの母が語った雪と寒さのなかでの病院通いの苦労話を思い出します。5歳、4歳、2歳、病気がちの幼児を抱え泣くに泣けないほどの数年だったと。父はその間、山間過疎地に鉄道を敷く建設工事（水郡線と会津若松線）を担当していました。我慢づよい父は苦労を口にしませんでしたが、自然風土との困難な闘いだったと思います。

南北に細長い弓状の日本列島

一口に小寒といっても地域によって大きな違いがあります。その違う自然・風土のなかで日本人は育ち、五感、性格、思考、知恵など人間性が形成されてきたのではないのでしょうか。自然への畏敬の念、自然と共に生き、調和を重んずる心情、過酷な環境に負けないがまん強さ、勤勉さ、そして微妙な工夫と匠。他国の文化を独自に日本化した優れた製品や芸術。それら日本人の得意な「ものづくり」は、列島風土自然の産物に思えます。いま、その「ものづくり」に、新しい日本づくりへの希望が託されています。

日本人の価値観は、「自然を征服」してきた西欧民族とは、根本的な違いがあるようです。いま、大きな壁に直面している西欧文明。その国々の知恵者が注目しているのは、自然との調和を基本とする日本的な哲学や人生観、芸術観で

はないでしょうか。

微妙な季節のニュアンスが文化の母体

グローバル経済の津波に翻弄されて、日本はひどい目に合ってしまったようです。日本と日本人のアイデンティティ（和魂）を見失い、目先の金儲けに走った浅知恵。それが、失われた日本の 20 年だったように思えます。

年頭に 21 世紀の日本を考えると、目先のデフレ脱却よりも本質に注目したいと思います。人間の本質、自然の本質、好ましい社会の本質、幸せの本質などを、深く考えた日本の設計が大切だと思えるのです。

人と人、人と自然のコミュニケーションを基本にする、思いやり、助け合い、分かち合い、連帯できる、心豊かな社会、の方向性です。

今年の NPO PTPL は、このことを重視して前に進むことになると思います。

理事長からの新年メッセージ

新しいホームページに、理事長勝田祥三からの新年メッセージが掲載されました。ページの表紙・右下：赤い囲みの中の「新しい年 2013 年の年頭にあって」をクリックなさるとご覧いただけます。少し長めの文章ですが、とても大事な価値観が述べられており、目を開いて日本の本質を考えるヒントになるでしょう。

ぜひご覧ください。 www.plantatree.gr.jp

朝倉 勇 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事)

■ 事務局だより

◎理事長勝田祥三からの新年メッセージご覧ください。

本文にもありますように、「新しい年 2013 年の年頭にあって」と題した新年のメッセージをぜひ、お読みください。

※郵送の方にはメッセージを同封、メールの方には添付でお送りいたします。

◎お知り合いをご紹介ください。

みなさんのお知り合いの方で、NPO PTPL の活動のご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひ、会員としてご紹介ください。一緒に NPO PTPL が目指す社会づくりをしていきたいと思っています。

◎メッセージをお待ちしています。

新しい年 2013 年もスタートしました。みなさんには「ともいき便り」をはじめとして、様々な情報を提供していきます。

そのためにも。みなさまから、様々なメッセージをお待ちしています。メッセージは facebook「ともいきぐらし」や NPO PTPL・タピラス・ともいき暦・ハンドインハンドなどのサイトで掲出させていただきます。

■お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤

〒108-0073 東京都港区三田 2-21-11 パークハイム三田 103 号

電話：03-6436-0335 FAX：03-6436-0337 Email：info@plantatree.gr.jp